

虐待防止研修 1 担当者用

虐待と不適切ケアの基本を事例から考える | 進行と読み上げ原稿

準備と進め方

対象は特養等の入所施設で働く職員です。受講者用資料を配布し、投影できる場合はスライドを使用します。スライドのノート欄にも、以下と同じ読み上げ原稿と時間を入れています。

内容	時間
目的	1 分
虐待防止の基本	3 分
事例	2 分
考える時間	3 分
解説と実践	4 分
振り返り	2 分
合計	15 分

開始前に確認すること

施設内の相談先、責任者不在時の連絡先、市町村の通報窓口を確認します。受講者用資料、筆記具、時計を用意し、振り返りの回収先と課題を確認する担当者を決めます。

施設内の相談先	連絡方法
---------	------

市町村の窓口

15 分の運営

表の時間は説明・記入・間を含む進行目安です。事例は担当者が読み上げ、考える時間に全体発表は設けません。研修後の具体的な改善計画は、別の時間に扱います。実施前に一度読み合わせてください。

この教材の実施だけで、施設に必要な研修・委員会・指針整備などの要件すべてを満たすことを示すものではありません。自施設の年間計画と指針に位置づけて使用してください。

読み上げ原稿 目的と基本

スライド 1 虐待防止研修 1 60 秒

虐待の 5 つの類型を確認し、利用者さんの言葉や表情、必要なケアに目を向けます。人手が足りない場面でも、安全を守るためにできることと、施設で見直すことを考えます。今日は架空事例を使います。自分や仲間を責めるためではなく、明日の対応を具体的に考える時間にしましょう。全体で 15 分です。

スライド 2 虐待の 5 つの類型 100 秒

虐待には、身体的虐待、介護・世話の放棄・放任、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待の 5 つの類型があります。身体的虐待は、叩く、強く引っ張るなどの暴力。緊急やむを得ない場合以外の身体拘束。介護・世話の放棄・放任は、汚れたおむつを放置する、必要な受診につなげないなど、必要なケアを著しく怠る。心理的虐待は、威圧的に怒鳴る、排泄の失敗を笑うなど、心理的な苦痛を与える。性的虐待は、本人の同意のない性的な行為や、排泄介助時に人目を遮らず裸にするなど。経済的虐待は、預かった金銭の私的流用など、本人の財産を不当に扱う。一つの行為に複数の類型が重なることもあります。分類を当てただけでなく、利用者さんに起きていることを見てください。

スライド 3 不適切ケアだから軽いと考えるな 80 秒

「言い方が少しきつかっただけ」「悪気はなかった」という説明だけでは、利用者さんへの影響は分かりません。不適切ケアという呼び方で問題を軽く扱わず、何が起きているかを確認します。施設の職員が、自分の施設で職員による虐待を受けたと思われる高齢者を発見した場合は、速やかな市町村への通報が必要です。緊急性のある場合だけに限りません。施設内の相談・報告は大切ですが、通報に施設の許可は必要なく、内部報告だけで代えることはできません。強い危険があれば救急要請など、利用者さんの安全を優先します。

読み上げ原稿 事例と問い

スライド 4 事例 夕食前の場面 60 秒

※研修用の架空事例です。実在の人物・施設とは関係ありません。

夕食前、職員 B さんは配膳の準備、C さんは別の利用者さんの移乗介助をしています。すぐに応援に入れる職員はいません。

認知症のある A さんは、トイレへの移動に付き添いが必要です。

A さんが B さんに、「トイレに行きたいんですが」と声をかけました。

B さんは配膳の手を止めず、「さっき行ったばかりですよ。今は忙しいから、座って待っていてください」と答えました。

A さんに尿意や不快感があるか、待てる状態かは確認していません。

スライド 5 事例 気になっても離れられない 60 秒

数分後、A さんが再び声をかけると、B さんは周囲にも聞こえる強い口調で、「何回も同じことを言わないで」と言いました。

A さんはうつむき、それ以上、何も言わなくなりました。

C さんは、そのやり取りが気になりました。しかし、介助中の利用者さんから離れられず、B さんにも声をかけにくいと感じています。

A さんへの付き添いは、まだ行われていません。

スライド 6 考えてみましょう 180 秒

まず 1 分、自分の考えを整理します。その後 2 分、近くの人と気づきを共有してください。個人で受講する場合は、3 分間、考えたことを書き出します。すべての答えをまとめる必要はありません。

【進行】説明を含め 3 分。残り時間を見て、個人から共有へ案内。全体発表は行わず、解説へ進む。

読み上げ原稿 解説と実践

スライド 7 繰り返す訴えも、その都度確かめる 60 秒

「さっき行った」という事実だけでは、今の尿意や不快感は分かりません。Bさんは可能な範囲で手を止め、顔を向けて状態を確かめます。黙ったことを、困りごとが解消した合図にしないことが大切です。

【進行】要点の後には少し間を取り、自分の職場に置き換えて考えてもらう。

スライド 8 今の介助を安全に続けながら考える 60 秒

Cさんが移乗介助中の利用者さんを残して離れると、別の危険が生じます。Bさんの配膳準備を安全に中断できるか、Aさんの状態から付き添いを優先する必要があるかを考えます。安全に声をかけられるなら「Aさんの様子を確認できますか」と短く共有します。

【進行】要点の後には少し間を取り、自分の職場に置き換えて考えてもらう。

スライド 9 待ってもらった後を曖昧にしない 60 秒

待てる状態かを確認したうえで、誰が付き添うかを決め、実際にケアが行われたかまで確かめます。

「後で誰かがするだろう」で終わらせず、未対応なら引き継ぎます。

【進行】要点の後には少し間を取り、自分の職場に置き換えて考えてもらう。

スライド 10 個人の対応と業務の仕組みを両方見直す 60 秒

強い口調や確認不足を忙しさだけで済ませず、発言、Aさんの様子、当時の業務を記録・共有します。

同時に、夕食前の作業の重なり、役割分担、人員配置を管理者等と見直します。Cさん一人に改善の責任を負わせません。

【進行】要点の後には少し間を取り、自分の職場に置き換えて考えてもらう。

振り返りと意見の受け止め方

振り返りの読み上げ原稿 2分

今日の研修を振り返り、明日から見直す行動を一つ書いてください。「気をつける」だけでなく、どの場面で何をするかを具体的にしてみましょう。自分だけでは変えにくい課題も記入してください。解決策まで決める必要はありません。

【進行】説明を含め2分。記入後に回収方法と、課題を確認する担当者を案内。

「応援を頼めない」と意見が出たら

「実際に、すぐ応援を頼めない場面がありますね」と受け止めます。そのうえで、本人の状態確認、安全に中断できる作業、未対応のケアの引き継ぎを具体化します。人員や業務の重なりは、職員個人の努力だけに返さず、管理者等へつなぐ課題として残します。

「忙しいから仕方ない」と意見が出たら

忙しさの背景を確かめることは必要です。同時に「Aさんに何が起きていたか」を問い直し、強い口調やケアの未実施による影響を確認します。職員の人格評価にせず、対応と仕組みの両方を扱います。

実際の虐待が疑われる話が出たら

その場で全員に詳細を話させたり、当事者同士で解決させたりしません。担当者が個別に受け止め、安全確認と必要な連絡につなぎます。匿名の振り返り用紙だけに対応を委ねず、現在の危険はその場で申し出られるよう案内します。

記録と次の確認

共通 Excel に実施内容・受講状況・改善課題を記録します。欠席者への受講機会を設け、課題は担当者で確認期限を決めます。虐待が疑われる個別事案は、研修用 Excel に詳細を書かず、施設の定めた記録と保管方法で扱います。

事例の差し替えと出典

研修の目的を保てる場合は、架空事例を時事ニュースや施設内の課題へ差し替えられます。受講者用資料とスライド、ノートを読み上げ原稿を同時に更新します。

ニュースを使用する場合

行政の公表資料などで、発生日・公表日・確認できた事実を確認します。報道段階の疑いと確定した事実を区別し、記事全文や写真の転載は避けて、自分の言葉で必要な範囲を要約します。媒体名・公表日・URL を出典欄に記載します。個人や施設への批判ではなく、利用者への影響と予防策を考える問いにします。

施設の課題を使用する場合

利用者・家族・職員が特定される情報を除きます。氏名を伏せても分かる内容なら、複数の場面を組み合わせて再構成します。未対応の危険や疑いは、教材化を待たずに施設の対応手順と法令に沿って扱います。

差し替え前の確認欄

- ☐ 本人の言葉・状態と、職員の業務状況が分かる
- ☐ 事実と推測を区別している
- ☐ 事例を 2 分で読め、問いを 3 分で考えられる
- ☐ 個人の対応と、施設の課題の両方を扱える
- ☐ 配布資料・スライド・原稿・出典をすべて更新した

出典と参照箇所

厚生労働省 高齢者虐待への対応と養護者支援について 令和 8 年 3 月改訂

厚生労働省 国マニュアル第 1 章 高齢者虐待防止の基本

e-Gov 法令検索 高齢者虐待防止法 第 2 条・第 20 条・第 21 条

制度の参照日 2026 年 9 月 24 日。事例・設問・進行案は本資料のために作成したものです。

国マニュアル第 1 章の類型・具体例と基本的な考え方、高齢者虐待防止法の定義・施設の防止措置・通報規定を参照しています。法的な区分は事実確認に基づき判断されます。本事例だけで特定の類型を断定する進行にはしません。